

# 日本鐵鋼協會記事

## ◎理事會

大正十三年五月七日(水曜日)午後五時より本會事務室に於て理事會を開き左の事項に就きて協議せり。

- 一、臨時雇傭に關する件(可決)
  - 一、來る六月十八日講演會開催に關する件(可決)
  - 一、來る六月發行の「支那號」に關する件(可決)
  - 一、入退會者に關する件(可決)
  - 一、其他會務に關する件
- 當日出席者は河村曉君、香村小録君、鹽田泰介君等なり。

## ◎編輯會

大正十三年五月七日午後五時より本會事務室に於て編輯會を開き會誌第十年第六號「支那號」の原稿を選定せり。  
當日出席者は鹽澤正一君、杉村伊兵衛君、田中清治君、三島徳七君、山本貞次郎君等なり。

## ◎入退會者

前記役員會に於て入退會を承認せられたる會員左の如し。

入會者 (住所及職業)  
准會員

東京帝國大學工學部冶金科學生 同

日下宗基 田中清治  
吉澤英雄 同

紹介者

## 退會者 (住所及職業)

同 同  
大阪市西區島屋町住友製鋼所研究係 竹内亥三吉 青山 忍  
神田區旭町十二、鐵鋼商 正員 泉 藤 吉  
市外幡ヶ谷帝國合金精鍊會社、工學士 准員 豊原 彰  
大阪市東區谷町九ノ十二 同 前川與三郎

## ◎圖書寄贈

大正十三年五月寄贈を受けたる圖書左の如し。

- 一、帝都復興の基礎 寄贈者 工政會殿
- 一、「鐵と鋼」第一年第一號より第九年第六號迄合計百部 野呂正 恂殿

本會正會員小幡長太郎君は本年五月死亡せらる誠に哀悼の至りなり

◎製鐵業用語語選定 (第九回)

本年三月號に掲載せる製鐵業用語語選定の結果左の如し、之に關して御意見あらば御通知を乞ふ。

英 語	會 員 よ り 回 答 語	決 定 語	摘 要
Decarburisation (Dephosphorisation.) Carburisation. Carbonisation. Re carburisation. Ash pit.	脱炭 (脱磷) 興炭、加炭 炭化 復炭、加炭 アス溜、灰出口、灰掻口、火局	脱炭 (脱磷) 興炭 炭化 復炭 灰溜 (はいだまり)	
Fire bridge. Fire bar. Flue bridge. Stepped grate. Arch (of the furnace.)	火橋、火堰 火格子 火床架 段火格子 アーチ、天井	火橋 火格子棒 煽橋 段火格子 天井	
Uptake. Molten (Iron) bath. Charging hopper. Killing. Stamper.	煙路、上昇口 鎔湯、湯 装入器 鎮靜、キリング スタンプ	上昇道 湯 装入漏斗 鎮靜 (キリング) 搗固器	
Blast box After blow. Burnt (Metal.) Thomas slag. Water bottom producer	風室、サインドボックス 追加吹、吹過ぎ、復吹 焼過ぎ金、燃焼 (地金) トーマス鋼滓、鹽基性鋼滓 水底式瓦斯發生爐	風箱 追加吹 焼過ぎ金 トーマス鋼滓 水底式瓦斯發生爐	

<p>Water seal. Back firing. Cold gas efficiency. Hot gas efficiency. Jet blower.</p>	<p>水栓 逆火、戻火 冷瓦斯効率 熱瓦斯効率 噴射送風装置</p>	<p>水栓 逆火 (さかび) 冷瓦斯効率 熱瓦斯効率 噴射送風装置</p>	
<p>Poking hole. Butterfly valve. Reversing valve. Reversing gear. Slag pocket.</p>	<p>攪拌孔、突孔又は覗孔 蝶形瓣、蝶瓣、變更瓣 變更瓣 變更装置 鋼滓室、ノロ受ケ</p>	<p>攪拌孔 蝶形瓣 變更瓣 變更装置 鋼滓室</p>	
<p>Regenerator. Charging machine. Charging door(hole.) Charging box. Charging spoon or peel. Tilting furnace.</p>	<p>蓄熱室 裝入機 裝入戸 (口) 裝入箱、バツク 裝入篋、裝入臺 傾注爐、傾鑄式爐</p>	<p>蓄熱室 裝入機 裝入口 裝入箱 裝入篋 傾注爐</p>	

# ◎四月三十日講演會狀況

去る四月三十日午後六時より本俱樂部第一階會議室に於て講演會を開く來會者約百名、頗る盛會なりき。

○會長(河村曉君) 今夕は工學士松下長久君の「石油を燃料とする平爐の製鋼法に就て」と、理學士佐藏俊一君の「鑄物の電弧溶接に就て」と題する講演のある筈なりしが、佐藤氏は目下實地研究の爲め長崎に出張中なれば、其代りとして理學士飯高一郎君に「新タルピン翼材料合金に就て」と題する講演を乞ふ事とせり、右變更の儀寛恕あらんを乞ふ。夫より松下君に講演を乞はる。

第一席 松下長久君 (講演時間一時間)

石油を燃料とする平爐製鋼作業に就ては昨年三月より日本鋼管會社に於て實施經驗せるものなり、石油の性状、燃燒方法、バーナーの構造、平爐の形狀及平爐工場の設備、又將來に對する改良の考案等詳細に亘り講演せらる、終て俵博士、加藤榮君、香村博士等より質問ありて後、河村會長より此の講演を認許せられたる日本鋼管會社、今泉博士並に講演者たる松下長久君に對して謝辭を述べらる。

第二席 飯高一郎君 (講演時間一時間二十分)

先づタルピン翼材料に就て必要な條件、二、新合金の試験的研究の結果、三、タルピン翼として試用せる結果、四、學問的基礎の研究、五、特性及用途等に就き講演者發明の飯高メタルに關して非常に興味ある講演あり、終りに幻燈を以て詳細なる説明を與へらる。後河村會長より本講演に關し三菱造船研究所長莊田達彌氏の厚意と、飯高氏の勞に對し謝辭

を述べ且つ此の有益なる合金發明の成功に對して祝福の意を表せらる。

閉會は午後九時なりき。

## ◎轉居

前號報告後轉居者の新住所左の如し。

- 大阪府下天王寺村西苗代田二二三六
- 山口縣豐浦郡彦島町大字彦島江ノ浦三菱社宅
- 八幡市三條町一丁目榎田官舎五二八岩切孝之助方
- 東京府豊多摩郡澁谷町大字澁谷神原十六番地
- 東京府下大井町原五三七七
- 福岡市外箱崎町九州帝國大學工學部冶金科
- 長崎市八幡町二九六中村方
- 吳市吳水交支社
- 山口縣下松町日立製作所笠戸工場分析係
- 麻布區廣尾町二
- 神戸市平野下三條町四四四
- 兵庫縣武庫郡鳴尾村小松字里六
- 豐橋市外小池字原下三八
- 吳海軍工廠
- 小石川區軍陸造兵廠技術部
- 牛込區南榎木町三二
- 大阪府北區玉川町四丁目江口熊次郎方
- 千葉縣津田沼鐵道第二聯隊第三中隊
- 長崎市鮎ノ浦三菱長崎造船所
- 鳥取縣西伯郡尾村大字車尾(米子町縣立工業學校)
- 府下荏原郡大井町山中四、三五三
- 群馬縣群馬郡金島村金井、群馬水力株式會社金井發電所内
- 大阪府西九條濱通り拾
- 東京府下瀧ノ川町西ヶ原八二〇
- 東京府外大久保百人町七三
- 熊本市黒髮町小松原二〇七
- 千葉縣中山驛葛飾字小栗原一三八
- 吳市吳海軍工廠製鋼部
- 吳市登町一丁目十六
- 名古屋西區島崎町一豊田式織機株式會社内
- 神戸市加納町二ノ二
- 神戸市旗塚通り一ノ二
- 東京府荏原郡平塚村戸越二四〇
- 東京府市兵庫野池川崎造船所社宅内
- 埼玉縣北足立郡大宮町櫻木南區鐵道官舎
- 東京市外中野町上ノ原九三四

- 井今明山島中高安若野高青根長栗渡三佐四種竹三上伊小百松河新岩森小濱岩西
- 上井松田根岡原林長野木本野原邊澤野方口中木野藤川々野田田崎重林野切
- 克松正益一益成昌忠侍正文物應幹治勇重岩太梅榮初千辰義義均智繁哲
- 己修藏榮治二治吾之男郎明八一七秀愛雄三友雄郎登吉吉男勝吉雄家一教藏三池助